

バリアフリー社会実現しよう

点字図書館長が講演

大夕協 福祉研修会開く

大阪タクシー協会（三野

文明会長）は第27回福祉タ

クシー研修会を10月28日、

大阪市のホテルプリムロー

ズ大阪で開催。堺市立健康

福祉プラザ視覚・聴覚障害

者センター点字図書館の原

田敦史館長が「見えない・

見えにくい人の理解」をテ

ーマに講演を行った。写真

真。

視覚障害者とは眼鏡など

で矯正しても視力が上がら

ない人で、1級から6級ま

で等級がある。

身体障害者手帳を所持す

る視覚障害者は約31万人存

在。うち80%が重度障害者、

10%が全盲とみられている

とした。

視覚障害者がタクシーに

ついて感じている問題点と

して、▽どこを通っている

のかかわからない▽遠回り

をされているのではないか

▽（料金の收受時に）お札

の種類をこまかされている

座席、シートベルトの確認

.....

③ルートの確認と説明④お金のやりとり⑤下車時の（車両周辺の）状況説明①が必要とした。

さらに、視覚障害者の症

状はさまざまであるため、

「乗務員としての接遇に正

解はない。やり過ぎかなど

思えるくらい配慮が重

要」と強調した。

